

2020 年度第 2 四半期決算説明会（電話会議）

概要

日時：2020 年 10 月 30 日（金）15：30～16：30

スピーカー：株式会社 WOWOW 代表取締役 社長執行役員 田中 晃（以下、田中）
代表取締役 副社長執行役員 黒水 則顯（以下、黒水）
取締役 執行役員 尾上 純一（以下、尾上）

電話会議の内容

司会：それでは、定刻になりましたので、株式会社 WOWOW 2020 年度第 2 四半期決算説明会テレフォンカンファレンスを開催させていただきます。本日は、お忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございます。

本日の説明で話した内容と、質疑応答に関しては、外部機関のほうを通じまして、全文配信および弊社コーポレートサイトに掲載されますので、ご了承ください。

また、テレフォンカンファレンスで使用する決算説明資料は、当社 IR サイト、決算説明会資料のページに掲載しておりますので、ご覧ください。

本日のテレフォンカンファレンスには、代表取締役 社長執行役員、田中晃、代表取締役 副社長執行役員 黒水則顯、取締役執行役員 経理担当、尾上純一が参加しております。

それでは、社長の田中より、2020 年度第 2 四半期決算ハイライトのご説明をさせていただきます。田中社長、よろしくお願いいたします。

2020年度第2四半期決算 ハイライト

正味加入件数は67千件の純減、収支は減収増益に

加入

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツイベント等が延期・中止となったことから7月までは苦戦
- 「全米オープンテニス」で大坂なおみ選手が二度目の優勝をしたことなどにより、8月は半年ぶりに正味加入件数が純増に転じた。9月には延期となっていた「全仏オープンテニス」の再開などにより、正味加入件数は純増となったが、結果として上期の正味加入件数は純減となった

(単位：千件)

	2019年度2Q	2020年度2Q	前年同期差	前年同期比
新規加入件数	282	241	△41	85.4%
解約件数	303	308	5	101.7%
正味加入件数	△21	△67	△46	—

収支(連結)

- 売上高は前年同期と比べ累計正味加入件数が減少したこと等より、減収
- 経常利益は番組費の減少等により、前年同期と比べ増益に

(単位：百万円)

	2019年度2Q	2020年度2Q	前年同期差	前年同期比
売上高	41,070	39,376	△1,693	95.9%
営業利益	4,589	7,735	3,145	168.5%
経常利益	4,955	8,104	3,148	163.5%

それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

田中：田中でございます。本日はテレフォンカンファレンスにご参加いただきまして、誠にありがとうございます。それでは、まず私からは、2020年度の第2四半期の決算ハイライトをご説明いたします。

スライドの2ページをご参照ください。まず加入でございます。当第2四半期の新規加入件数は、24万1千件、解約件数は30万8千件、正味加入件数は6万7千件の純減となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響によりまして、スポーツや音楽ライブなどが延期・中止となったことから、7月までは正味加入件数がマイナスと大変苦戦いたしました。

しかしながら、大坂なおみ選手が2度目の優勝を成し遂げた全米オープンテニス、あるいは、サザンオールスターズの無観客ライブの放送などにより、8月は半年ぶりに正味加入件数が純増に転じました。

9月には、延期となっていた全仏オープンテニスの開催やX JAPANのライブなどにより、正味加入件数はプラスとなりました。しかし、結果としては、上期の正味加入件数は大幅な純減となりました。

WOWOW

収支、連結でございます。売上高は、前年同期と比べて累計正味加入件数が減少したことなどにより、16億93百万円の減収となりました。経常利益は、スポーツ番組などの放送が延期・中止となったことなどにより、前年同期と比べ番組費が減少して、増益となりました。

それでは、数字の詳細につきまして、経理担当の尾上がご説明いたします。

2020年度第2四半期 加入状況

(単位：千件)

	2019年度2Q	2020年度2Q	前年同期比較	
			前年同期差	前年同期比
新規加入件数	282	241	△41	85.4%
解約件数	303	308	5	101.7%
正味加入件数	△21	△67	△46	—
累計正味加入件数	2,881	2,788	△93	96.8%
内) 複数契約*1	413	403	△10	97.6%
内) 宿泊施設契約*2	68	74	6	109.0%

*1 同一契約者による2契約目と3契約目のデジタル契約に割引制度を適用（月額2,300円の視聴料金を900円に割引。金額は税抜き）

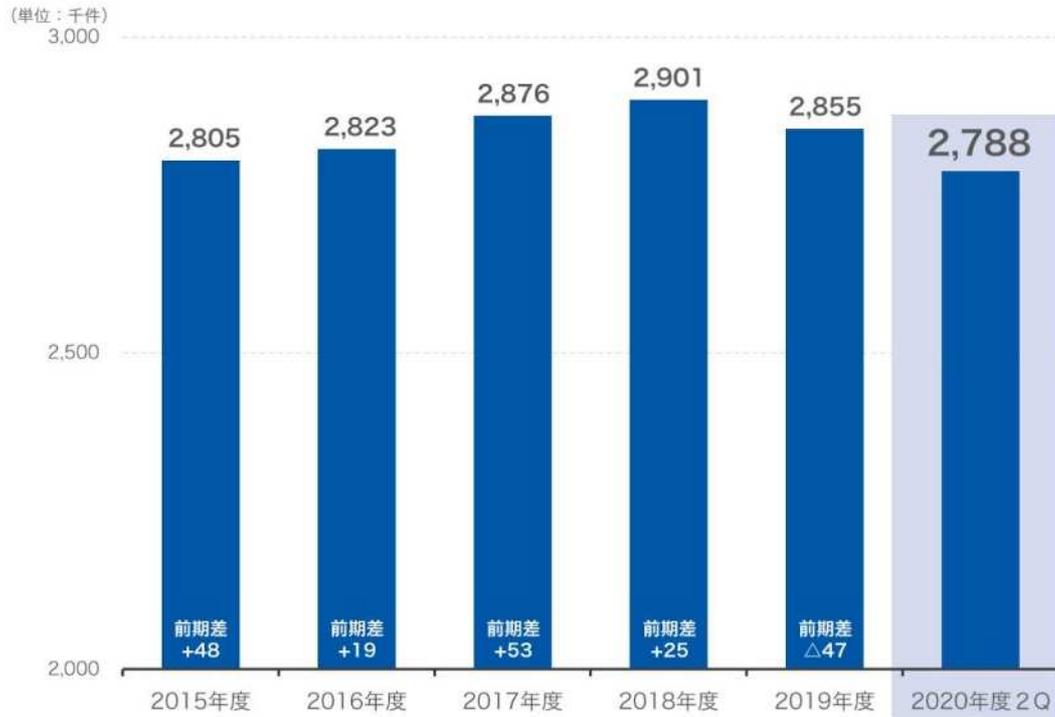
*2 宿泊施設の客室で視聴するための宿泊施設事業者との個別契約

尾上：9ページの主要な連結決算会社の収支状況まで尾上からご説明させていただきます。

まず、スライドの3ページ、加入状況でございます。当第2四半期の新規加入件数は24万1千件、前年同期と比べ4万1千件の減少となりました。また、解約件数は30万8千件、前年同期と比べ5千件の増加。正味加入件数は6万7千件の純減、前年同期と比べ4万6千件の減少。結果、累計正味加入件数は、278万8千件、前年同期と比べ9万3千件の減少となりました。

先ほど社長の田中がご説明したとおり、7月までは新型コロナウイルス感染症によるスポーツや音楽ライブの延期・中止の影響により、正味加入件数はマイナスとなりましたが、8月、9月はスポーツや音楽ライブの再開に伴い、正味加入件数は増加に転じております。

累計正味加入件数の推移



スライドの4ページです。2015年度からの累計正味加入件数の推移となります。

前ページでご説明したとおり、2020年度第2四半期は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、正味加入件数は純減となりましたが、下期はスポーツや音楽ライブ、開局30周年記念コンテンツ等、積極的にコンテンツを投入していくことにより、第2四半期末時点でマイナスとなっている正味加入件数を下期で取り戻し、当初の計画どおり、年間でプラスマイナスゼロ件を目指してまいります。

2020年度第2四半期 収支状況

(単位：百万円)

		2019年度2Q		2020年度2Q		前年同期比較	
		実績	収入比	実績	収入比	前年同期差	前年同期比
連 結	売上高	41,070	100.0%	39,376	100.0%	△1,693	95.9%
	営業利益	4,589	11.2%	7,735	19.6%	3,145	168.5%
	経常利益	4,955	12.1%	8,104	20.6%	3,148	163.5%
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,460	8.4%	5,663	14.4%	2,203	163.7%

単 体	売上高	36,230	100.0%	34,739	100.0%	△1,491	95.9%
	営業利益	4,289	11.8%	7,699	22.2%	3,409	179.5%
	経常利益	4,790	13.2%	8,093	23.3%	3,303	169.0%
	四半期純利益	3,373	9.3%	5,672	16.3%	2,299	168.1%

それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

スライド5ページでは、連結の収支状況をご説明いたします。

当第2四半期は、前年同期と比べ減収増益となりました。売上高393億76百万円。前年同期に比べ16億93百万円の減収。経常利益は81億4百万円。前年同期に比べ31億48百万円の増益となりました。

売上高、経常利益の前年同期との差異要因の詳細は、次ページ以降でご説明いたします。

なお、10月23日に業績予想の修正を公表させていただきました。第2四半期の連結の経常利益は、当初公表値に比べ、約34億円の上振れとなっておりますが、番組に関わる費用等の発生が第3四半期以降にずれしたことなどによるものでございます。

また、同時に通期業績予想において売上高の修正も公表しております。新型コロナウイルス感染症により、イベント事業や連結子会社のテレマーケティング業務において外部向けの売上が減少する見込みから、売上高を下方修正いたしました。

利益については、売上高減少の要因に加え、番組に関わる費用等の発生が第3四半期以降にずれ込んだことなどにより、通期業績予想における利益は据え置きといたしました。

売上高 前年同期対比



それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

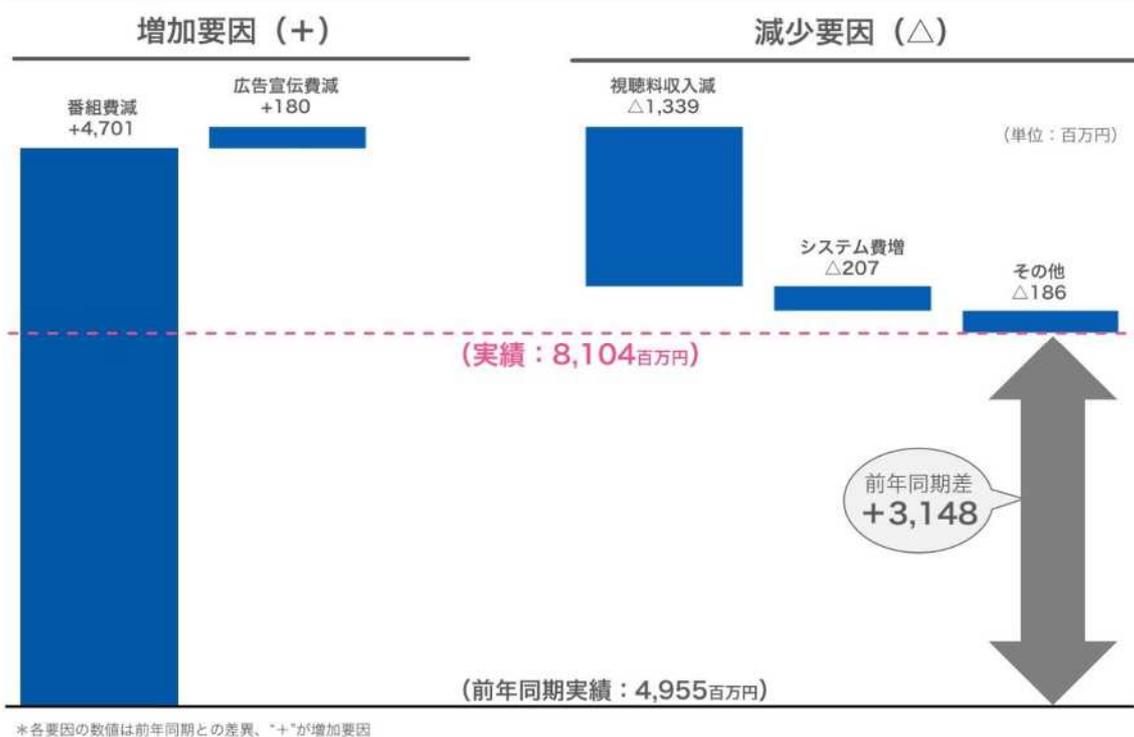
スライド 6 ページです。連結と単体の売上高の前年同期対比となります。

左側の連結売上高をご説明いたします。連結売上高は前年同期と比べ、16 億 93 百万円の減収となりました。

その内訳として、有料放送収入は、前年同期と比べ累計正味加入件数が減少したことにより 13 億 39 百万円の減収となりました。その他収入は、WOWOW 単体でのイベント収入など、付帯事業収入に加えて、連結子会社のグループ外への売上などが含まれております。

当第 2 四半期は新型コロナウイルス感染症の影響により、前年同期と比べイベント収入が減少したことや、テレマーケティング業務において、外部向け売上高が減少したことなどにより、3 億 53 百万円の減収となりました。

連結経常利益 前年同期との差異要因



スライドの7ページです。連結経常利益の差異要因となります。左側が利益の増加要因、右側が利益の減少要因となります。

まず、資料左側、主な利益の増加要因です。番組費が、前年同期に比べて、47億1百万円減少いたしました。また、広告宣伝費が1億80百万円減少いたしました。

資料右側、主な減少要因です。視聴料収入が13億39百万円減少しております。先ほどご説明したとおり、前年同期と比べ、累計正味加入件数が減少していることによります。

システム費が2億7百万円増加しております。WOWOWメンバーズオンデマンドの利用の増加等によるものです。

その他、1億86百万円の利益減少要因がございます。為替差益の減少や連結子会社の収益の悪化等によるものです。

以上の要因により、前年同期に比べ、31億48百万円の増益となりました。

番組費の推移

スポーツイベントや音楽ライブの延期・中止等により、番組費は前年同期と比べ減少



スライド 8 ページは番組費の推移となります。

新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツイベントや音楽ライブが延期・中止となったことなどにより、番組費は前年同期と比べ 47 億 1 百万円の減少となりました。

なお、先ほどご説明したとおり、番組に係る費用が第 3 四半期以降にずれ込んだことなどにより、上期は利益を上方修正いたしました。下期から積極的にスポーツ、音楽、オリジナルドラマ等のコンテンツを投入するため、通期では単体売上の約 38%、番組費を投入する見込みとなっております。

主要な連結決算会社の収支状況

■WOWOWコミュニケーションズ（テレマーケティング）

（単位：百万円）

	2019年度2Q		2020年度2Q		前年同期比較	
	実績	収入比	実績	収入比	前年同期差	前年同期比
売上高	4,409	100.0%	4,304	100.0%	△105	97.6%
営業利益	123	2.8%	24	0.6%	△98	20.3%
経常利益	125	2.8%	81	1.9%	△43	65.5%
四半期純利益	83	1.9%	54	1.3%	△29	64.8%

*WOWOWコミュニケーションズ単体の数値です。

■WOWOWプラス（放送）

売上高	2,573	100.0%	2,645	100.0%	71	102.8%
営業利益	141	5.5%	145	5.5%	3	102.6%
経常利益	142	5.5%	146	5.5%	3	102.6%
四半期純利益	121	4.7%	120	4.6%	△0	99.6%

*WOWOWプラス単体の数値です。

それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

スライド 9 ページ。主要な連結子会社の収支状況です。

表の上段、WOWOW コミュニケーションズです。同社は、テレマーケティングを行なっている会社です。売上高は 43 億 4 百万円、経常利益は 81 百万円となりました。

グループ外向けの売上が新型コロナウイルスの感染症の影響に伴い、減少したことにより減収減益となりました。

表、下段、WOWOW プラスです。同社は、放送事業を行っている会社です。BS および CS110 度、ケーブルテレビなどでベーシック系のチャンネルを展開しております。売上高は 26 億 45 百万円、経常利益は 1 億 46 百万円となりました。

同社は、ホテルでの番組配信サービスや設備導入を手掛けており、ホテルの新規開業など、受注の増加により増収増益となりました。私からの説明は以上となります。

司会：続きまして、2020 年度の業績見通しについて、社長の田中よりご説明させていただきます。それでは、田中社長、よろしくお願いいたします。

徹底的なコンテンツの差別化

スポーツイベントや音楽ライブ、新作オリジナルドラマが続々と再開

		
<p>生中継! エキサイトマッチSP 「井上尚弥」 ラスベガス防衛戦! 11月1日(日)</p>	<p>生中継!エキサイトマッチSP 「マイク・タイソン vs ロイ・ジョーンズ」 11月29日(日)</p>	<p>6カ月連続特集! THE YELLOW MONKEY 30th Anniversary WOWOWスペシャル 11月3日(火・祝)ほか</p>
		<p>生中継! エキサイトマッチSP 「井上尚弥」 ラスベガス防衛戦! 11月1日(日)</p>
<p>LPGA女子ゴルフツアー2020 畑岡・渋野 出場! メジャー 全米女子オープン 12月10日(木)~13日(日)</p>	<p>連続ドラマW 夜がどれほど暗くても 11月22日(日)スタート(全4話) [第1話無料放送]</p>	<p>※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、番組に変更の可能性があります</p>

田中：はい。スライドの11ページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症はご承知のように、いまだ収束の気配がございませんが、徐々にスポーツイベントや音楽ライブは再開し、連続ドラマW最新作は10月より放送を開始しております。

今後の注目コンテンツからお伝えします。まず、日本時間でございますけれども、11月1日の午前中にWBA・IBF世界バンタム級王者の井上尚弥選手とWBO世界同級1位のジェyson・マロニー選手との防衛戦を放送いたします。井上選手の試合は、2017年の9月、2019年5月に生中継をいたしまして、お客さまからの反響が大変大きいものでございました。

ボクシングでいきますと、さらに11月29日には、2005年に引退した、ご存じ元ヘビー級王者マイク・タイソンと元4階級制覇王者ロイ・ジョーンズ、このレジェンド同士のドリームマッチも実現いたしまして生中継をいたします。

ちなみに、マイク・タイソン54歳、ロイ・ジョーンズ51歳でございます。

WOWOW開局30周年記念コンテンツを展開

<p>当社は2021年4月1日に開局30周年を迎えます。開局30周年を変革の機として、戦略的な費用投下、投資を実施していきます。</p> <p>開局30周年に先立ち、2020年12月からは「連続ドラマW コールドケース3～真実の扉～」を放送し、その後も開局30周年にふさわしい大型コンテンツを続々と投入していきます。</p>	 <p>WOWOW開局30周年記念 連続ドラマW コールドケース3 ～真実の扉～ 12月5日(土)スタート(全10話)[第1話無料放送]</p>	 <p>WOWOW開局30周年記念 連続ドラマW 華麗なる一族 2021年放送予定(全12話)</p>
	 <p>WOWOW開局30周年記念 連続ドラマW トっカイ～不良債権特別回収部～ 2021年1月スタート(全12話)[第1話無料放送]</p>	 <p>WOWOW開局30周年記念 UEFA EURO 2020™ サッカー欧州選手権 2021年6月開幕</p>

*新型コロナウイルス感染症の状況によっては、番組に変更の可能性がございます

続いて、スライド 12 ページです。当社は 2021 年 4 月 1 日に開局 30 周年を迎えます。開局 30 周年を変革の機としまして、戦略的な費用投下、投資を行なってまいります。

2020 年、今年の 12 月からは「連続ドラマW コールドケース 3」を放送し、その後も開局 30 周年にふさわしい大型コンテンツを投入してまいります。

ドラマでは、この「コールドケース 3」の他に、清武英利原作の「トっカイ」、これを主演・伊藤英明でドラマ化、また山崎豊子原作の「華麗なる一族」を主演・中井貴一でドラマ化いたします。

スポーツでは、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となっていた EURO2020™ サッカー 欧州選手権などを放送します。

WOWOW FILMS最新作が劇場公開



WOWOW FILMS

『罪の声』

2020年10月30日(金)

小栗旬×星野源。人気と実力を併せ持つ
今の日本エンタメ界を牽引する2人が
映画初共演となるこの秋最大の注目作『罪の声』。
原作は、2016年の「週刊文春」
ミステリーベスト10で第1位を獲得するなど
高い評価を得た塩田武士のベストセラー小説

©2020 映画『罪の声』製作委員会
*新型コロナウイルス感染症の状況によっては、劇場公開日に変更の可能性がございます



WOWOW開局30周年記念 WOWOW FILMS

『太陽は動かない』

2021年3月5日(金)全国ロードショー

人気小説家・吉田修一のサスペンス巨編を
「MOZU」「暗殺教室」の羽住英一郎監督が完全実写化。
主演に「カイジ」シリーズをはじめ
出演作の大ヒットが続く藤原竜也。
その相棒役に「テセウスの船」で
名実ともに若手No.1の呼び声が高い竹内涼真。

©2021 映画『太陽は動かない』製作委員会

WOWOW

©2020 WOWOW INC.

13

スライドの13ページです。続きまして、WOWOW FILMSの幹事作品、映画のご紹介です。

まさに本日より、WOWOW FILMSの最新作「罪の声」が劇場公開となります。小栗旬さんと星野源さん。人気と実力を併せ持つ、今の日本エンタメ界を牽引する2人が映画初共演となる、この秋最大の注目作でございます。

原作は、2016年「週刊文春」ミステリーベスト10で第1位を獲得するなど、高い評価を得た塩田武士さんのベストセラー小説でございます。大変クオリティの高い作品に仕上がっておりますので、ご覧いただければと思います。

また、新型コロナウイルス感染症の影響によって公開延期となっておりましたWOWOW FILMS「太陽は動かない」の劇場公開が2021年3月5日に決定いたしました。

コンテンツと映画をご紹介しましたが、コンテンツ以外にも下期には、事業計画で公表しておりましたCAS番号を登録しないでも加入・視聴できるようにサービスを拡充いたします。また、2021年3月にはBS4K放送を開始することで、上期に減った正味加入件数を下期で取り返し、年度末にはプラスマイナス0件まで回復させる計画でございます。

2020年度 加入計画 (2020年5月15日公表値)

(単位：千件)

	2019年度 実績	2020年度 計画	前期比較	
			前期差	前期比
新規加入件数	564	630	66	111.7%
解約件数	611	630	19	103.2%
正味加入件数	△47	—	47	—
累計正味加入件数	2,855	2,855	0	100.0%

14 ページでございます。今申し上げましたように、2020 年度の加入計画は、公表値と変更ございません。

2020年度 収支計画 (2020年10月23日公表値)

(単位：百万円)

		2020年度当初計画		2020年度修正計画		当初計画比較	
		実績	収入比	計画	収入比	当初計画差	当初計画比
連 結	売上高	80,700	100.0%	78,800	100.0%	△1,900	98.6%
	営業利益	4,800	5.9%	4,800	5.9%	—	100.0%
	経常利益	5,000	6.2%	5,000	6.2%	—	100.0%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	3,300	4.1%	3,300	4.1%	—	100.0%
単 体	売上高	70,500	100.0%	69,400	100.0%	△1,100	98.4%
	営業利益	4,700	6.7%	4,700	6.7%	—	100.0%
	経常利益	5,100	7.2%	5,100	7.2%	—	100.0%
	当期純利益	3,500	5.0%	3,500	5.0%	—	100.0%
年間配当		80円/株		80円/株		—	100.0%

(注) 番組費：単体の売上高比として約38.0%を見込む。
想定為替レート：1ドル110円

それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

15 ページでございます。10月23日に業績予想の修正を公表させていただきました。

2020年度当初計画では、今年8月以降に徐々に事業活動が正常化していく見通しで計画を立てておりましたが、現時点において、テニスなどのスポーツイベントの一部は無観客等々で開催されているものの、音楽ライブやステージ等につきましてはこの環境下でのイベント開催が模索されている状況でございます。

また連結子会社においても、新型コロナウイルス感染症の影響によって、テレマーケティング業務における外部向け売上高の減少は、当連結会計年度中は継続すると考えられます。

加入計画の予想数値に変更はないため、有料放送収入の見通しに変更はございませんが、イベント事業や連結子会社の外部向け売上高の減少が見込まれることから、連結・単体業績予想において売上高の計画を変更いたします。

なお、利益、配当予想については前回公表値から変更ございません。

司会：私どもからのご説明は以上となります。

質疑応答

司会：これから質疑応答に移らせていただきます。よろしくお願いいたします。

質問者 A：1点質問をお願いいたします。

番組費に関して、放送権料の見通しについてお願いできればと思っております。コロナの発生前後で、スポーツやその他コンテンツの放送権料のトレンドに変化は起こっているものでしょうか。また、中長期の放送権料の見通しについてお考えをお伺いできればと思っております。よろしくお願いいたします。

田中：私、田中からご回答します。何しろ、このコロナという、非常事態といいたししょうか、有事のことでございますので、まだトレンドとして権料がどう変化していくとかはちょっと申し上げられる段階にはありません。ですから、この先もコロナの影響がどう出るか分かりませんので、権利元もまだまだ方針を出している状況には到底ありません。ですので、しばらくは判断つきかねるという状況でございます。

したがって、計画ベースでは、これまでの過去に基づいて計画を立てていくということになるかと思えます。以上です。

質問者 A：ありがとうございます。コロナ以前は、スポーツの放送権料が高騰している傾向があったかと思うのですが、現状としてはコロナ前の水準を前提にして置かれていて、今後については、権利元さんのご判断によって、また見通しを変えていかれると理解してよろしいでしょうか。

田中：交渉事でございますので、権利元の要望があれば、権利を購入するサイドの財政的な状況など、全部加味されて決まっていくという、当然のことでございます。全体のトレンドが縮小してくるから安くなっていくのではないかとか、そうはいつでも、ワールドワイドな競争は変わらないので高まっていくのではないかとか、その辺も含めて、まだ見通しが立つという状況にはないのが繰り返しのご回答になります。

質問者 A：大変よく分かりました。どうもありがとうございました。以上になります。

司会：ご質問いかがでしょうか。ご質問がないようですので、ここで終了させていただきます。

田中：重ねまして、本日は、ご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

説明の中でも申し上げたことと繰り返しになるんですけども、上期が終了しまして、正味加入件数のほうは6万7千件という大きな純減になりました。

WOWOW

第2クォーター（7月～9月）で正味加入件数は純増に転じましたけれども、コロナの影響によりまして、第1クォーター（4月～6月）の減少が大きく響いたということでございます。

下期は、先ほど申し上げましたように、コンテンツと、それからサービス、そしてプロモーションに大きな投資をして、通期として当初の予定どおり、正味加入件数をプラスマイナスゼロの純増減に持っていきたいと計画をしております。

特に第4クォーター（1月～3月）の施策は、これまでにないトライをしようと考えております。改めてそれを発表する機会を用意いたしますので、ぜひまたお集まりいただければと思います。

その前に、まずは明後日のボクシング井上戦をご期待、ご注目いただければと思います。

本日は、ありがとうございました。

司会：以上をもちまして、2020年度第2四半期決算説明を終了させていただきます。

本日はテレフォンカンファレンスにご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

以上